

長く使うために、日頃のお手入れをしっかりと

製品の機能を維持しながらご使用いただくためには、日頃の洗濯とお手入れが必要です。お手入れしていただくことで、信頼性の高い優れた性能を発揮し、耐用年数を長くすることができます。

汚れたときは



洗濯機で洗う場合

液体の洗濯洗剤を少なめに入れ(ファスナーやベルクロは閉じます)洗濯ネットに入れて洗います。



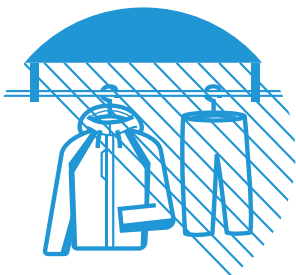
手洗いの場合

生地を傷めないようにやさしく洗います。頑固な汚れには40℃以下のぬるま湯が効果的です。

洗濯の際は商品タグに記載されている洗濯表示に従ってください。

- ※洗剤が残ると洗剤成分が湿気を呼び寄せ撥水性を低下させます。すぎはしっかりと行いましょう。
- ※塩素系漂白剤、染み抜き剤、柔軟剤は生地の傷みにつながるため、ご使用は控えてください。
- ※タワシ・ブラシ・高圧洗浄機等を使ったお洗濯は、生地表面の撥水性低下の原因となりますので避けてください。

洗濯したあとは



日陰で吊り干し

洗濯を終えたら軽く脱水してください。直射日光に当たると生地劣化の原因になるため風通しのよい場所での陰干しがおすすめです。



仕上げ

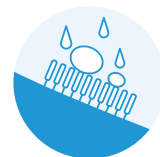
陰干しした後は、あて布をして低温でアイロンをかけるか、標準温度で乾燥機をご使用ください。熱を加えることで撥水性が回復します。撥水スプレーを施すことも効果的です。

はっすい

撥水性の仕組み

撥水性のある生地表面には**撥水基**(細かいうぶ毛のようなもの)が整列して立っており、そのうえを水滴が玉になりコロコロと落ちていきます。しかし、汚れや摩擦で**撥水基**が倒れると水を弾くことができません。撥水基は**熱によって立ち上がる性質**があるため汚れを洗濯して落とし、アイロンや乾燥機で熱を加えることで**撥水性は回復**します。

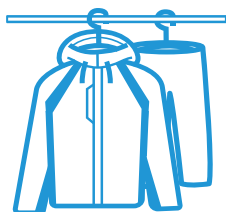
撥水性あり



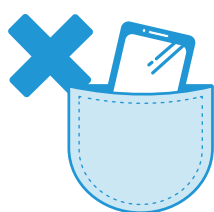
撥水性低下



取り扱いや保管時の注意点



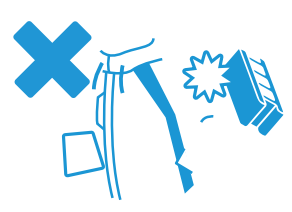
風通しのよい直射日光の当たらない場所で吊るして保管してください。畳んだままの保管は折りじわができ生地の傷みにつながります。



ポケットは完全防水ではありません。携帯電話/スマートフォンなどの精密機器を入れると水の浸透により故障する恐れがあります。ご注意ください。



車の中や炎天下など高温多湿な場所に放置しないでください。生地の色あせ・劣化につながります。



過度な摩擦は避けてください。生地の劣化、破れに繋がります。洗濯機を使用する場合は、ネットに入れることで摩擦が少なくなります。